

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	臨床検査技師科1年		学期及び曜時間	前期 木曜日	教室名	801 802
担 当 教 員	山本桂子/松良	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>人間関係の基礎的な理論を社会学、心理学、コミュニケーション論等の基礎理論から学習し、応用的には人間関係の諸問題を具体的にとりあげ、グループワークや小レポートを通して考えを深めていく。医療の現場にとどまらず、それらを取り巻く家族、そして現代社会の変化にも注目しながら人間関係のさまざまな問題について考えていく。 キーワード:社会的存在、コミュニケーション・スキル、チームワーク</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験60%、小テスト20%、平常点(提出物、発表、グループワークへの参加態度等)20%の総合評価とする。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>石川ひろの他『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版』2018, 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>予習としてテキストの関連箇所を読んでおくこと。復習として、テキスト及び配付資料を再度読み、疑問点などを調べてまとめる。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>人間関係について学ぶ科目なので、授業中の発表は積極的に行うこと。また、グループワークは多くの意見や疑問を交換しあえるように、意欲と関心をもって参加し取り組むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	集団の中にうちとけるようになるために			
		各コマにおける授業予定	アイスブレイク/SGE			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会的存在に気づく	各自色鉛筆を持参		
		各コマにおける授業予定	授業の進め方・評価の説明、関係的成長(人間関係の図)			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	情報の提供と収集の能力を高める			
		各コマにおける授業予定	情報を伝える練習、情報を引き出す練習			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自己理解を図る			
		各コマにおける授業予定	エゴグラムで自分の自我状態を知る			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーソナルコミュニケーションを学ぶ(1)			
		各コマにおける授業予定	言語・非言語の基礎理論			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 パーソナル・コミュニケーションを学ぶ(2)		
		各コマにおける授業予定 コミュニケーションの諸相		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 パーソナル・コミュニケーションを学ぶ(3)		
		各コマにおける授業予定 CSIテスト/コーチング理論		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 パーソナル・コミュニケーションを学ぶ(4)		
		各コマにおける授業予定 コミュニケーションスキルを映像資料から学ぶ		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 集団と組織の人間関係を学ぶ(1)		
		各コマにおける授業予定 アサーション度テスト/アサーションの基本		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 集団と組織の人間関係(2)		
		各コマにおける授業予定 アサーショントレーニング(グループワーク)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 集団と組織の人間関係(3)		
		各コマにおける授業予定 集団の機能とリーダーシップ(グループワーク)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 集団と組織の人間関係(4)		
		各コマにおける授業予定 チーム医療と医療安全のためのコミュニケーション		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 援助的なコミュニケーションの技法を学ぶ(1)		
		各コマにおける授業予定 カウンセリングの技法		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 援助的なコミュニケーションの技法を学ぶ(2)		
		各コマにおける授業予定 患者・家族を支える人間関係/終末期		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 援助的なコミュニケーションの実際		
		各コマにおける授業予定 援助的なコミュニケーションの技術を映像から学ぶ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	人間関係論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	臨床検査技師科1年		学期及び曜時間	前期 木曜日	教室名	801 802
担当教員	山本桂子/松良	実務経験とその関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>人間関係の基礎的な理論を社会学、心理学、コミュニケーション論等の基礎理論から学習し、応用的には人間関係の諸問題を具体的にとりあげ、グループワークや小レポートを通して考えを深めていく。医療の現場にとどまらず、それらを取り巻く家族、そして現代社会の変化にも注目しながら人間関係のさまざまな問題について考えていく。 キーワード:社会的存在、コミュニケーション・スキル、チームワーク</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験60%、小テスト20%、平常点(提出物、発表、グループワークへの参加態度等)20%の総合評価とする。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>石川ひろの他『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版』2018, 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>予習としてテキストの関連箇所を読んでおくこと。復習として、テキスト及び配付資料を再度読み、疑問点などを調べてまとめる。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>人間関係について学ぶ科目なので、授業中の発表は積極的に行うこと。また、グループワークは多くの意見や疑問を交換しあえるように、意欲と関心をもって参加し取り組むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会的スキルの具体例を挙げられるようになる			
		各コマにおける授業予定	社会的スキル演習(1)			
第17回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会的スキルに必要な行動例を言えるようになる			
		各コマにおける授業予定	社会的スキル演習(2)			
第18回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	対人関係スキルの具体例を挙げることができる			
		各コマにおける授業予定	対人スキル演習(1)			
第19回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	対人関係スキルの具体例を挙げることができる			
		各コマにおける授業予定	対人スキル演習(2)			
第20回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	人間関係構築に必要な事を言えるようになる			
		各コマにおける授業予定	総復習			